

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会

第 22 号

2012 (平成24) 年12月15日 (土)

『やれなかった やらなかった どっちかな』

寺子屋・こども論語塾 主宰 新田 修

今年も残すところあとわずかになりましたが、この一年を振り返ってみて私が特に印象に残っているのはノーベル医学・生理学賞を受賞した京都大学の山中伸弥教授です。私達日本人にとっての誇りを実感することのできた快挙といえるのではないのでしょうか。

さて、塾生のみなさんは、もうじき待ちに待った冬休みに入ります。特に年末年始は気持ちが開放的になり、生活のリズムが乱れがちになるものです。そうならないように注意してほしいと思います。

ところで、最初の言葉は仏教の教えを深く学んだ書家であり詩人でもあった相田 みつをの代表的な著書「にんげんだもの」の中に出てくる詩の一節です。

「れ」と「ら」の一字違いですが、その差はとても大きいと思います。

私の教師時代、宿題を提出しない生徒にその理由を聞くと、「部活動で疲れてやれませんでした」と言う者はまだしも、「忘れました」と平然として答える者がいました。遅刻の多い生徒も同じです。「起きれなかった」のか「起きる気がなかった」のか、本人の意志が今一つはっきりしないのです。

『一事が万事』と言いますが、むしろ『一字が大事』と言った方がいいのではないのでしょうか。

人は何故か素直に自分のミスを認めようとしません。あれこれ理屈をつけたがります。人間の性として仕方ないことだと思いますが、塾生のみなさんにはせめて自分自身に正直に「やれなかった」のか「やらなかった」のか、問い詰める心を持ちたいものです。

最後に希薄になりつつある親子の対話がこの冬休み一層深まることを期待します。どうぞよいお年を！

★ 塾生紹介 ★

池田 真帆 さん	〈氏 名〉	高橋 優 さん
千歳市立千歳小学校・3年	〈学校名・学年〉	株式会社 エコ・札幌 代表取締役
算数・体育・図工	〈好きな教科〉	環境クリエイター・樹木医
ヴァイオリン・囲碁・二重跳び	〈趣味(好きなこと)〉	スポーツ観戦・樹木観賞
両親	〈尊敬する人〉	坂本龍馬・父親(故人)
フルーツ	〈好きな食べ物〉	魚(特にホッケ・サンマ)
あだ名は、まっちゃん で特技は二重跳び	〈その他〉	自分の子供、孫にこの塾での内容を伝えたい。
真帆さんは、明るくとても積極的で感性豊かな人の心の痛みがわかる女の子だと思います。新田先生の論語は解説がおもしろく、読み方に感情が入っていてとても良いと言ってくれました。真帆さんの将来の夢はお医者さんになることだそうです。強い意志を持っている真帆さんですから、きっと叶えられると思います。是非、夢の実現に向けて努力してほしいと願っています。	〈先生からのコメント〉	厳しさの中にも温かみのある誠実な人柄は、多くの人に慕われています。社長として一人の人間として堅忍不拔の精神を備えた立派な人格者だと思います。また、塾に対する熱い思いも人一倍強く、子供達の塾生が可愛くてたまらないそうです。世話人会の皆さんには、頭が下がる思いですと話してくれました。

※ 1月の塾生紹介は、池田沙和さんと譜久元栄子さんを紹介します。